

議案外質問(9月14日) 藤井ひろき議員

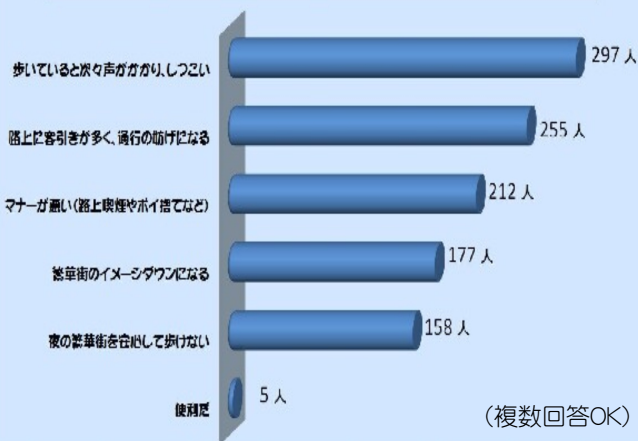
「しっこい」「通行のさまたげ」...路上『客引き』、一刻も早く規制を「条例制定を含め、しっかり対応したい」(局長)

藤井ひろき議員は14日の本会議で質問にたち、名古屋駅や栄、金山等の繁華街で問題となっている、路上での「客引き」行為を早急に規制するよう求めました。

藤井議員が昨年11月の本会議で同問題を初めて取り上げて以来、新聞やTVで特集が組まれるなど、規制条例の実現に向けた機運が高まっています。

名古屋駅・金山駅周辺の飲食店利用客アンケート調査
(2016年7・8月実施)

路上での「客引き」行為について、どう思いますか？



観光客ら9割以上が「規制が必要」

藤井議員は名古屋・金山両駅周辺の飲食店が、この夏、利用客によびかけてとりくんだアンケート調査の結果を紹介(グラフ参照)。

観光や仕事などで名古屋を訪れた376人が回答を寄せ、「何らかの規制が必要とありますか」との問いに「はい」と答えた人は92%にのびりました。

藤井議員は、「(市長が)『訪れたいマチ、ナゴヤ』というのであれば、市民、観光客の立場に立って、一刻も早く条例制定すべきだ」と迫りました。

中田英雄市民経済局長は「一定のルールが必要。条例制定を含め、しっかりと検討したい」と答えました。

条例には「罰則規定」が不可欠

藤井議員は、規制条例を施行して間もない川崎市の実情に触れ、「条例に『罰則規定』を設けなければ『客引き』行為は減らない」と力説しました。



リニア新駅工事 地権者から不満続出

「生活設計が成り立たない」

「リニア名古屋駅」の工事に伴い、JR東海は市の外郭団体「名古屋まちづくり公社」とともに用地買収を始めています。該当する土地の権利者からは「家屋調査が行われたが、家や敷地のどこが工事にひっかかるのか説明がない。家具一つ買い替えることもできず、今後の生活設計が成り立たない」など、JR東海に対する不満の声が広がっています。

住民目線で情報開示させよ

藤井議員は「駅完成後の開発計画を立てるなら、工事用地の境界がわからないはずがない。住民目線で情

「JR東海に対し、強い姿勢で改善を求めるべきだ」

報を開示するようJR東海に求めるべきだ」とただしました。

黒田昌義住宅都市局長は答弁で「地権者の理解と協力を得ることがまず第一。JR東海には丁寧な説明を行うよう申し入れたい」と述べるにとどまりました。

藤井議員は、3兆円にのぼる政府資金投入によって、リニア計画の公共事業としての性格が一層強まると指摘。「今年2月の定例会で田口議員が丁寧な説明を求めたが、改善の兆しすらない。立ち退きを迫られている市民の声をしっかり受け止めて、JR東海に改善をもっと強く申し入れるべきだ」と重ねて求めました。